

2023年度 第3四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	有機EL材料(輸送材料、発光材料、表面保護材料)、PCR診断キット用材料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料
	先端材料	カラーフィルター用染料、近赤外吸収材料、有機太陽電池材料
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬・農業資材	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業、ISOタンクコンテナ保管事業

第3四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

連 結	2022年度	2023年度	前年同期比
売 上 高	31,824	31,642	▲ 181
営 業 利 益	3,132	2,412	▲ 719
経 常 利 益	3,581	3,012	▲ 568
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,734	1,563	▲ 171

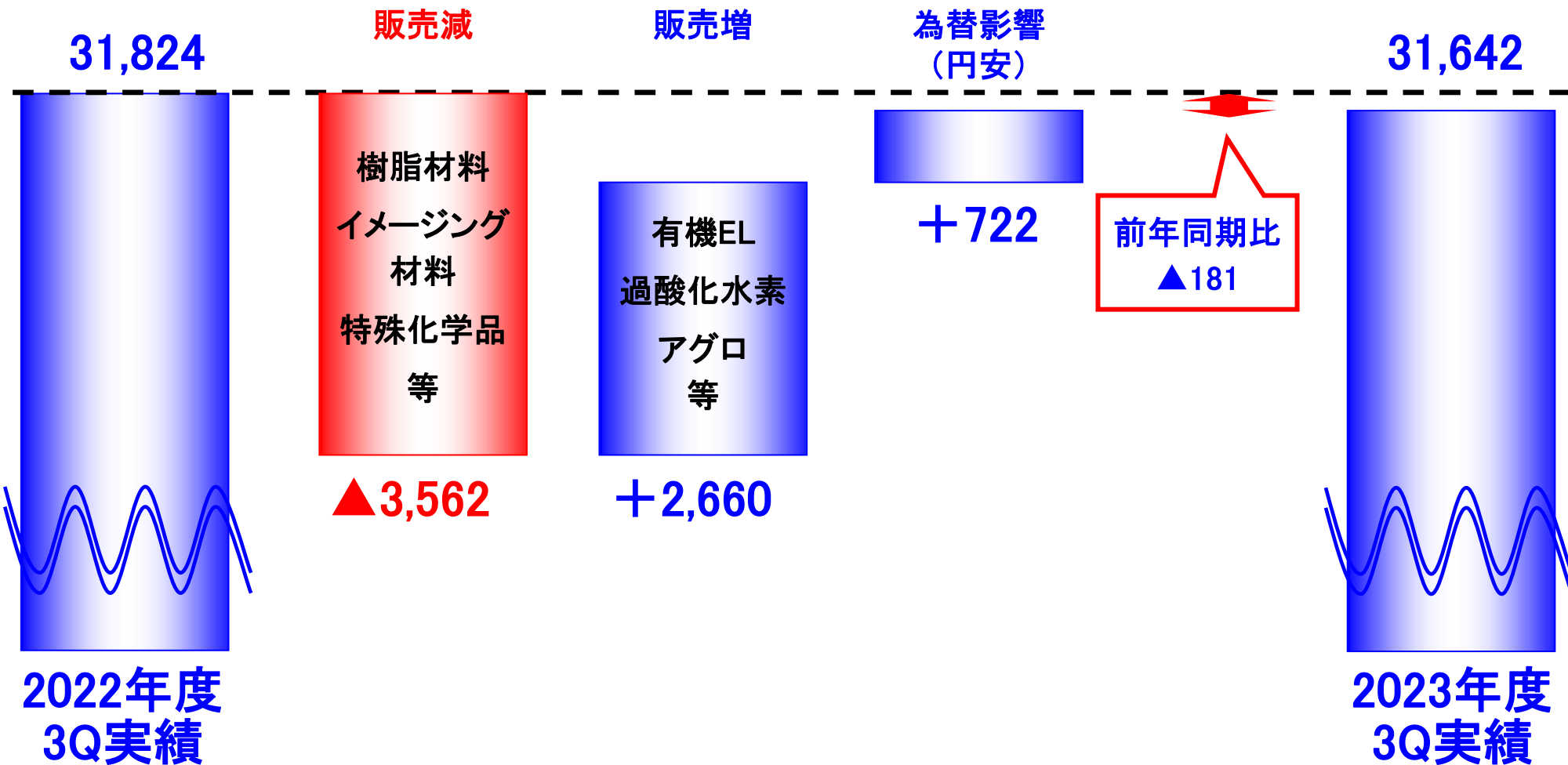
為替レート

\$=136.85円
W=0.1035円

\$=143.79円
W=0.1092円

\$=ドル
W=韓国ウォン

(単位:百万円)



- ・ **売上高**は、機能性色素、基礎化学品、アグロサイエンスの増加および、円安の効果があったものの、機能性樹脂、物流関連の減少により、181百万円の**減収**
- ・ **営業利益**は、売上高の減少および売上原価の増加により、719百万円の**減益**
- ・ **経常利益**は、営業利益の減少により、568百万円の**減益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、経常利益の減少により、171百万円の**減益**

(単位:億円)

科目	2023年 3月末	2023年 12月末	増減
(流動資産)	365	378	+12
現預金	104	132	+27
売上債権	129	112	▲17
棚卸資産	120	124	+3
その他	11	9	▲1
(固定資産)	354	402	+47
有形・無形 固定資産	239	280	+40
投資有価証券	85	99	+14
その他	29	22	▲7
合計	720	780	+59

科目	2023年 3月末	2023年 12月末	増減
(負債)	221	230	+9
仕入債務	46	46	+0
有利子負債	105	97	▲7
その他	70	86	+16
(純資産)	498	549	+50
資本金	111	111	-
資本剰余金	79	79	▲0
利益剰余金	186	197	+11
その他	121	160	+39
合計	720	780	+59

第3四半期累計

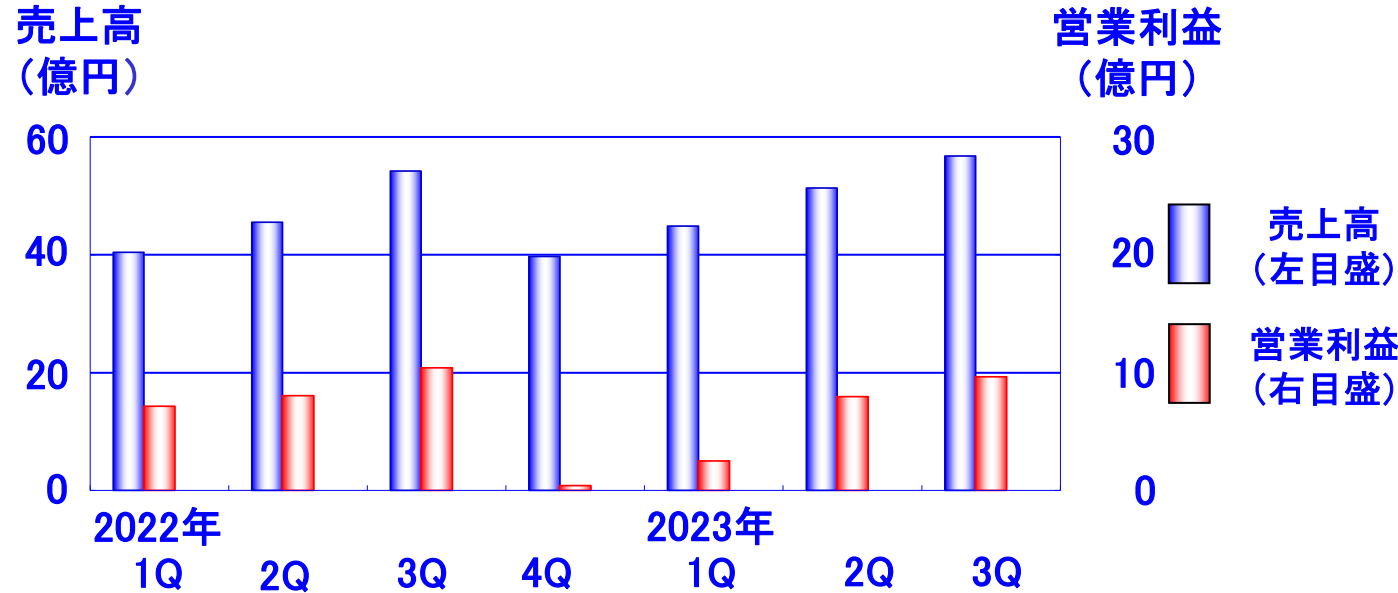
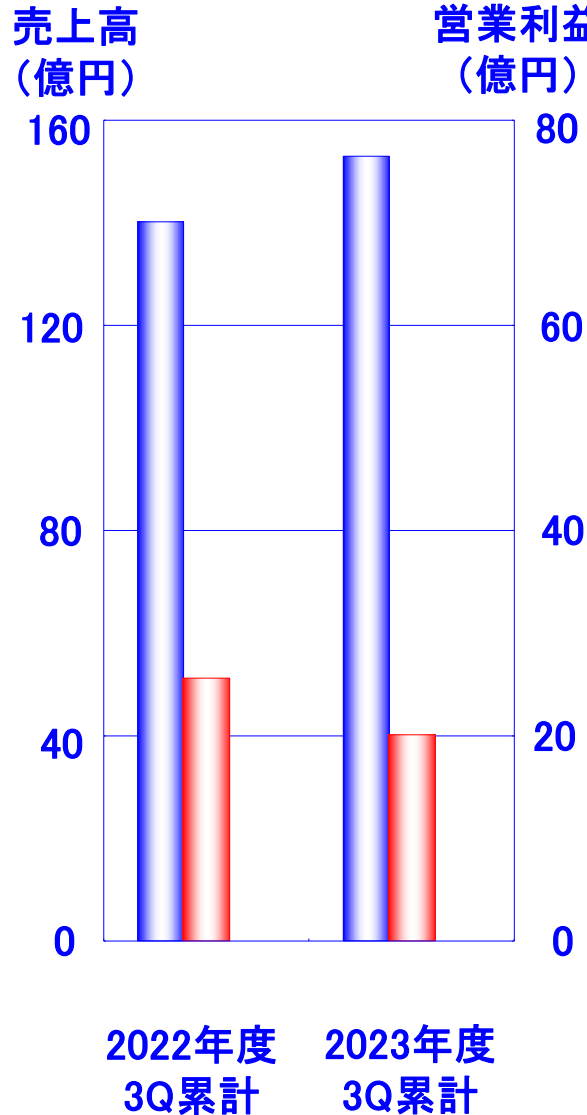
 単位：百万円
 表示：百万円未満切捨

セグメント	2022年度	2023年度	前年同期比
機能性色素	14,016	15,298	+ 1,282
機能性樹脂	8,266	6,113	▲ 2,152
基礎化学品	5,359	5,859	+ 500
アグロサイエンス	2,662	3,024	+ 361
物流関連	1,452	1,223	▲ 229
その他	67	122	+ 55
合計	31,824	31,642	▲ 181

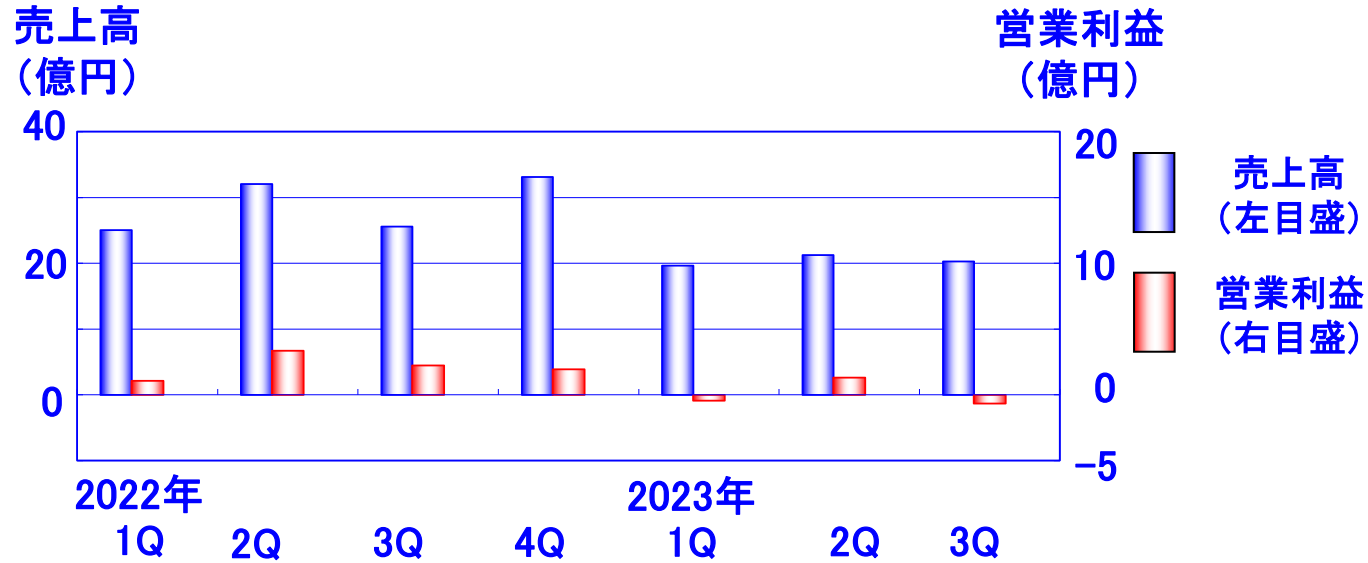
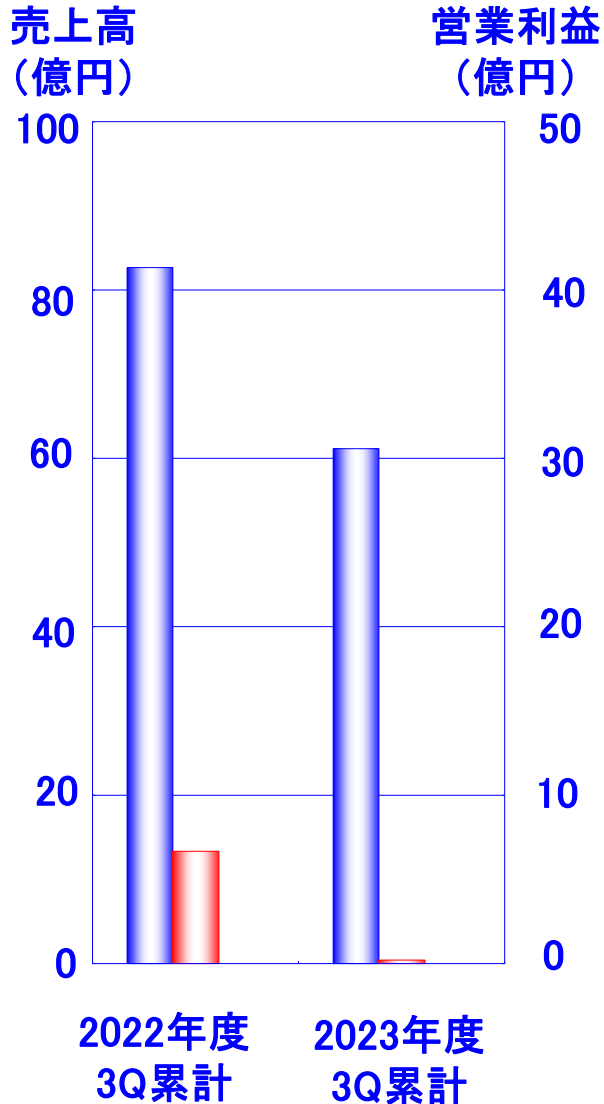
第3四半期累計

単位:百万円
表示:百万円未満切捨

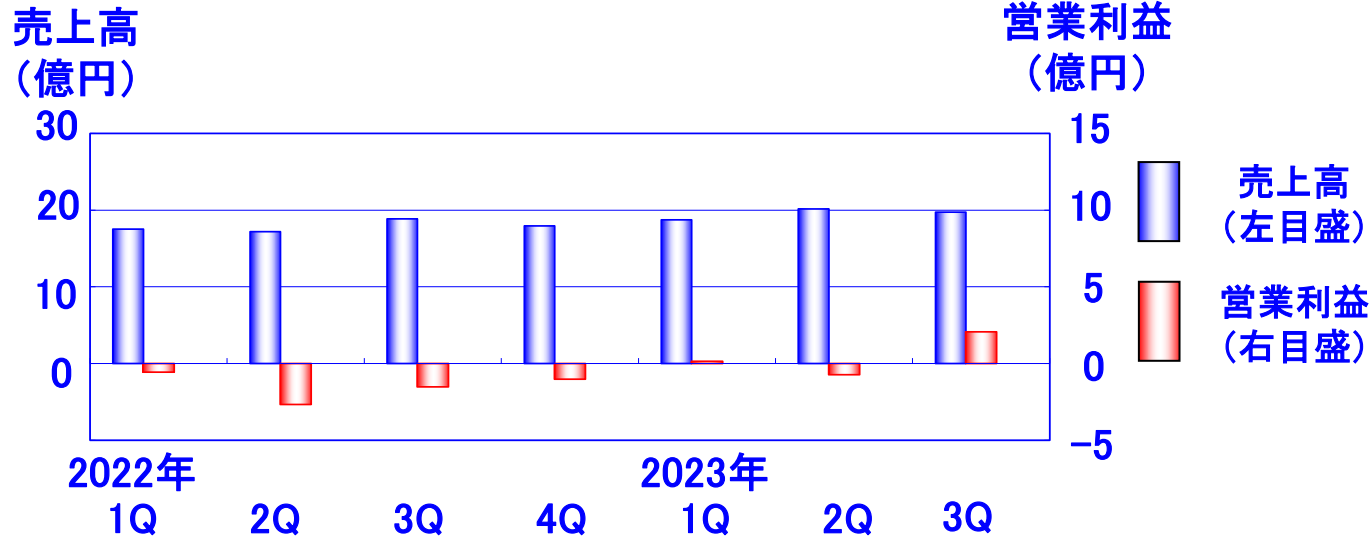
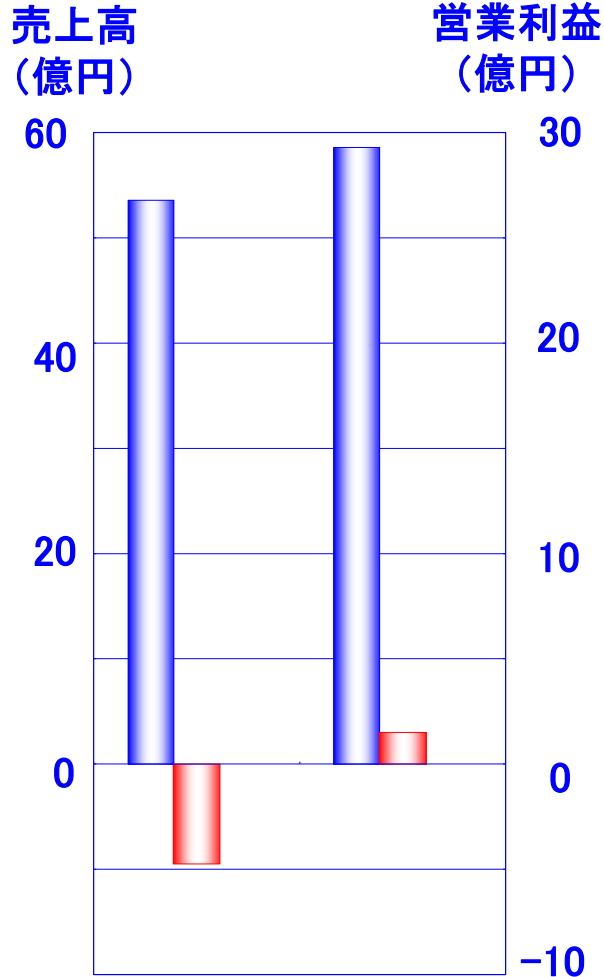
セグメント	2022年度	2023年度	前年同期比
機能性色素	2,562	2,011	▲ 551
機能性樹脂	667	21	▲ 645
基礎化学品	▲ 474	150	+ 625
アグロサイエンス	111	43	▲ 67
物流関連	255	181	▲ 73
その他	10	3	▲ 7
合計	3,132	2,412	▲ 719



有機EL材料	<ul style="list-style-type: none"> 当社の子会社におけるPCR診断キット用材料の需要が引き続き低迷しているものの、スマートフォン向けを中心とするディスプレイ分野において、有機EL材料の需要増に加え、為替影響による増収効果もあり、有機EL材料事業全体としては大幅な増収 	▲
色素材料	<ul style="list-style-type: none"> 繊維向け染料の海外での需要が堅調に推移し、アルミ着色用染料もスマートフォン向けを中心に引き続き販売が増加したこと等から、大幅な増収 	▲
イメージング材料	<ul style="list-style-type: none"> プリンター向け材料の需要が海外を中心に引き続き低迷しており、大幅な減収 	▼



樹脂材料	・海外向けを主とするウレタン材料の在庫調整の影響等を受け、大幅な減収	↓
特殊化学品	・医薬向け及び剥離剤向けの需要が引き続き低迷し、大幅な減収	↓
建築材料	・材料販売を中心に需要が回復基調にあり、増収	↑



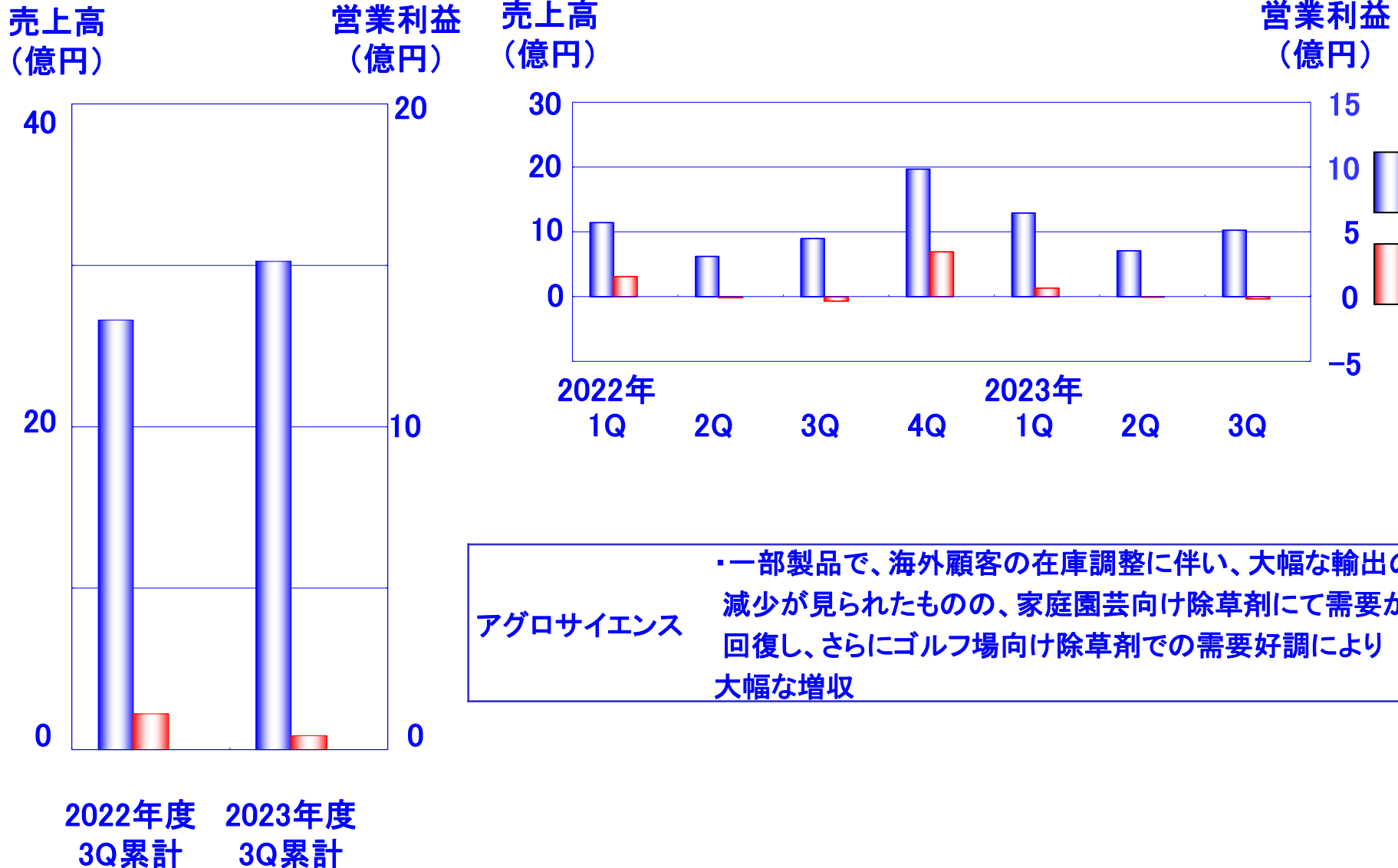
過酸化水素
及び
誘導品（※）

過酸化水素は、一部で需要減が見られるものの、コスト上昇分の価格転嫁を進めたことで、前年同期並みを確保。過炭酸ナトリウムも価格転嫁に加え、需要の回復並びに新規顧客の取り込みにより、大幅な増収。




※過炭酸ナトリウム、過酢酸等

2022年度 3Q累計 2023年度 3Q累計



アグロサイエンス

- 一部製品で、海外顧客の在庫調整に伴い、大幅な輸出の減少が見られたものの、家庭園芸向け除草剤にて需要が回復し、さらにゴルフ場向け除草剤での需要好調により大幅な増収

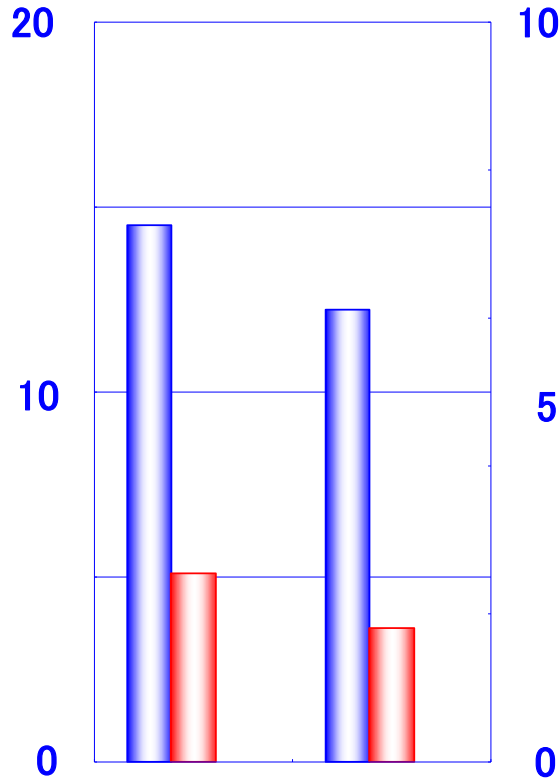


売上高
（億円）

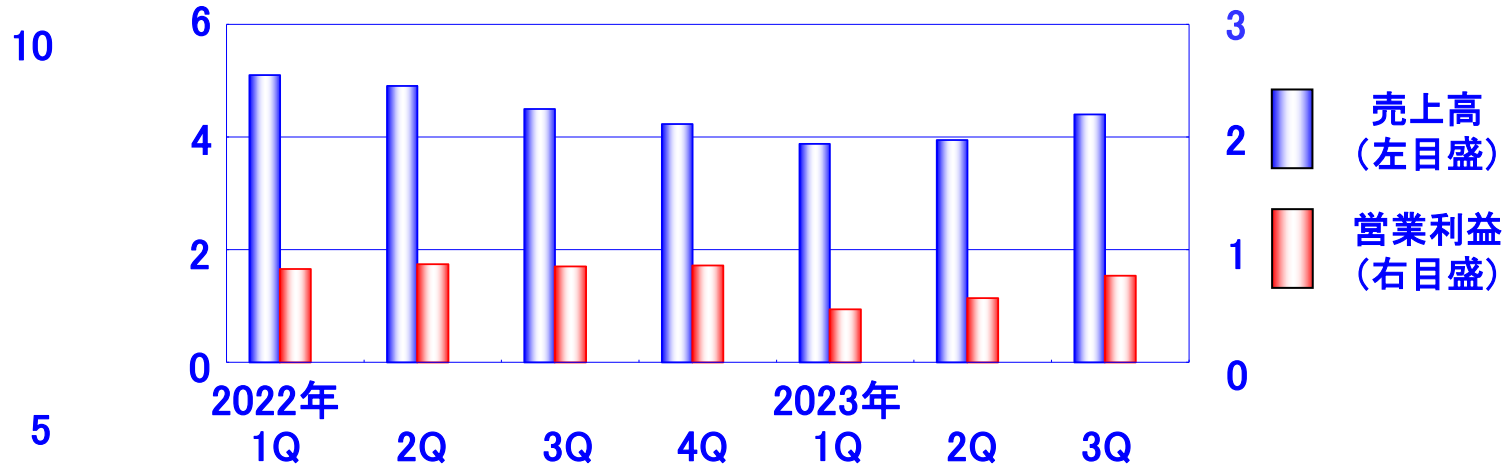
営業利益
（億円）

売上高
（億円）

営業利益
（億円）



2022年度 3Q累計 2023年度 3Q累計



物 流 関 連 ・中国をはじめとする海外での景気減速により、
輸出貨物の取り扱いが低迷し、大幅な減収

・連結業績予想(5月15日時点)と進捗率 (単位:百万円)

科 目	2023年度 業績予想	2023年度 第3四半期累計	進捗率
売 上 高	47,000	31,642	67%
営 業 利 益	3,900	2,412	62%
経 常 利 益	4,300	3,012	70%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,400	1,563	65%

- ・ 第3四半期における、2023年5月15日に公表しました業績予想に対する、売上高、利益の進捗率は上記の通りです。
第4四半期においても、一部製品の需要の回復や値上げの浸透を見込んでおり、現時点では、業績予想の変更はありません。